

## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：前佛 和秀

<b>事業名</b> 一般国道18号 <small>のじりインターチェンジかんれん</small> 野尻IC関連	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 関東地方整備局
<b>起終点</b> 自： <small>ながのけんかみみのちくしなのまちふるま</small> 長野県上水内郡信濃町古間 至： <small>ながのけんかみみのちくしなのまちのじり</small> 長野県上水内郡信濃町野尻			延長	8.7km
<b>事業概要</b> 一般国道18号は、群馬県高崎市を起点とし、長野県上田市、長野市を経て新潟県上越市に至る延長約19.4kmの主要幹線道路である。野尻IC関連は、冬期における安全かつ円滑な交通流の確保および交通混雑の緩和を目的に計画された事業である。				
H1年度事業化	S60年度都市計画決定 (信濃町野尻) H2年度都市計画決定 (信濃町野尻～古間)	H5年度用地着手	H6年度工事着手	
<b>全体事業費</b>	約250億円	<b>事業進捗率</b> (令和2年3月末時点)	60%	<b>供用済延長</b> 4.3km
<b>計画交通量</b>	4,000～8,000台/日			
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.02 (残事業) 2.8	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 96/388億円 〔事業費：83/361億円〕 〔維持管理費：13/27億円〕	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 270/394億円 〔走行時間短縮便益：209/308億円〕 〔走行費用減少便益：51/74億円〕 〔交通事故減少便益：9.0/11億円〕	<b>基準年</b> 令和2年
<b>感度分析の結果</b> 【事業全体】交通量：B/C=0.95～1.1（交通量 ±10%） 事業費：B/C=0.99～1.03（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=0.97～1.1（事業期間±20%） 【残事業】交通量：B/C=2.6～3.0（交通量 ±10%） 事業費：B/C=2.6～3.1（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=2.7～3.0（事業期間±20%）				
<b>事業の効果等</b>				
①冬期における安全かつ円滑な交通流の確保				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・信濃町は、特別豪雪地帯に指定されているが、国道18号現道の当該区間は幅員が狭く、堆雪幅が未確保。</li> <li>・歩道未整備区間も多く、冬期は歩行者の車道通行が強いられる等、安全面での課題がある。</li> <li>・野尻IC関連の整備により、冬期の交通障害の解消が期待できる。</li> </ul>				
②観光活性化の支援				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・信濃町では国道18号周辺に、野尻湖や黒姫高原等の観光地が存在し、年間で約94万人の観光客が訪れる。</li> <li>・特に観光入込が増えるGWやお盆期間には、国道18号で渋滞が発生し、旅行速度が大幅に低下。</li> <li>・野尻IC関連の整備により、交通が分散され、観光地へのアクセス改善による、観光産業の活性化に期待。</li> </ul>				
③農産物等の物流効率化の支援				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・信濃町の農業は野菜の生産を主力とし、特産品であるとうもろこしは耕作面積が広く町の代表的な農作物。中京圏など大都市に出荷。</li> <li>・信濃町の製造業は業務用機械、電子、プラスチックなどの製造事業所が主として古間地区に立地。</li> <li>・野尻IC関連の整備により、特産品など農作物の集荷・出荷や、製造業製品の出荷における物流効率化や販路拡大に期待。</li> </ul>				
④上信越自動車道の代替路機能				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道18号の当該区間に並行する上信越自動車道は、過去5カ年に、妙高高原IC～信濃町ICが168回、信濃町IC～豊田飯山ICが30回通行止めになっている。</li> <li>・妙高高原IC～信濃町IC間は「事故」による通行止めが17%、信濃町IC～豊田飯山IC間は「事故」による通行止めが40%を占める。</li> <li>・上信越自動車道の信濃町IC～新井PA間は、H30年度チェーン規制実施箇所指定。</li> <li>・野尻IC関連の整備により、走行性が改善し、災害時等による上信越自動車道の通行止め時のリダンダンシー機能を強化する。</li> </ul>				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>				
長野県知事の意見：一般国道18号は、本県及び国土の骨格となる重要な道路であり、「野尻IC関連」は、地域における交通の安全・円滑化、高規格幹線道路へのアクセス性向上、観光の活性化に要不可欠な事業です。ついては事業を継続し、積極的な予算確保と早期完成に向けた事業の推進を強く要望します。また、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に努められるようお願いいたします。				
<b>事業評価監視委員会の意見</b>				
事業の継続を承認する。				

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

信濃町ICを含む上信越自動車道の供用（H9年度）、妙高野尻BPの供用（H9年度）、県道杉野沢黒姫線の供用（H15年度）、上信越自動車道（豊田飯山IC～信濃町IC）の4車線化供用（H21年度）、上信越自動車道（信濃町IC～妙高SA）の4車線化供用（R1年度）。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成6年度より工事に着手し、現在までに延長4.3kmが供用済。残区間は現道改良を含む延長4.4km。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

用地の取得は46%（令和2年3月末時点）完了。第1工区の現道拡幅区間（1.1km）は、令和2年8月に住民説明会を実施し、用地幅杭設置に着手。

施設の構造や工法の変更等

技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。

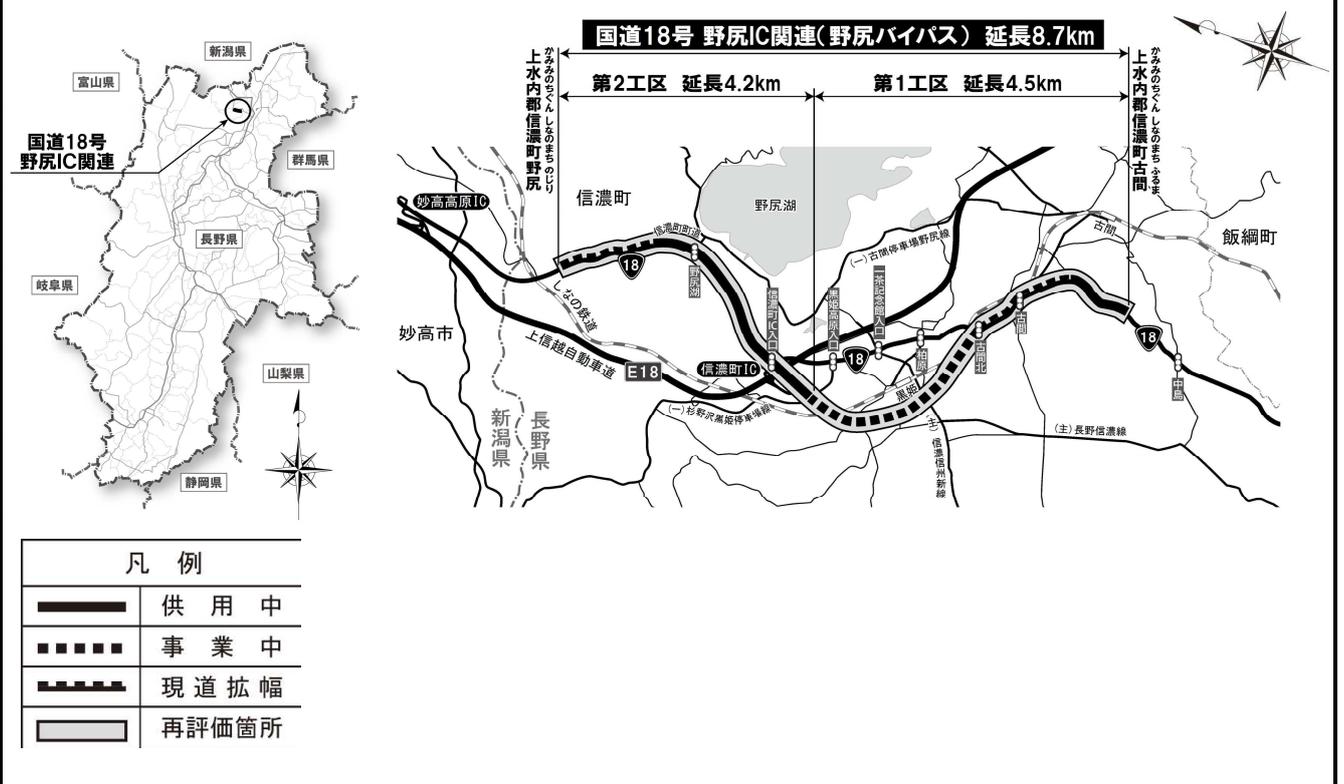
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。